



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2022年5月13日

企業・団体名 大高建設株式会社

代表者名 代表取締役社長 大橋 聡司

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和3年 7月 21日（宣言日）～令和4年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 全てにおいて安全を最優先し、無災害・無事故（休業災害ゼロ、公衆災害ゼロ、熱中症ゼロ）を目指す</p> <p>【実施状況】 ・社内安全衛生パトロールや第三者による安全パトロール等を毎月実施している。 ・安全衛生管理システムの浸透を図るため、毎月の安全衛生委員会で、コンパクトコスモスの理解を推進し、安全パトロールの結果ポイントを社員に周知し、災害事例を紹介し、リスク管理を徹底している。 ・災害ゼロを目指して、建災防の「新ヒヤリハット報告」を実施している。 ・ICT測量機器（トータルステーション）の導入で、ワンマン測量が可能で補助作業員・高所作業車の使用を削減し作業の効率化と安全性の向上が図れた。</p>
2	<p>【目標】 廃棄物の削減に努め、環境に配慮した施工技術の推進</p> <p>【実施状況】 ・脱炭素社会への取組みの一環として、黒部奥山の工事でEVトラックを導入した。 ・社員の家庭で使わないものを集めて、初回目の社内無料フリーマーケットを開催した。 ・社服のリニューアルに伴う旧作業服の廃棄の対応に、まだ使える旧作業服を回収し、「古着でワクチン」活動に寄付した。 ・工事資料をクラウド管理にし、検査等もクラウドのデータを使用して行いペーパーレス化を図った。</p>
3	<p>【目標】 新3K・新3Sを中心とする働き方改革で、誰でも平等に働け、安全・安心・快適な職場づくりとダイバーシティの推進（新3K＝給料・休日・希望の持てる、新3S＝smart、sustainable、safty）</p> <p>【実施状況】 ・ICT測量機器（地上型レーザースキャナー）を導入し、測量データを三次元データ化することでデータの正確性と作業の効率化を大幅に向上した。 ・健康経営を推進し、協会けんぽ「健康企業宣言（Step2）」の認定及び経済産業省「健康経営優良法人」ブライツ500の2年連続での認定を得た。 ・アンケート調査を実施し社内のハラスメント状況を把握した。また結果を受け、社内のハラスメント撲滅を目的として、社員全員参加の安全衛生委員会の中でハラスメント勉強会を実施した。</p>

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。